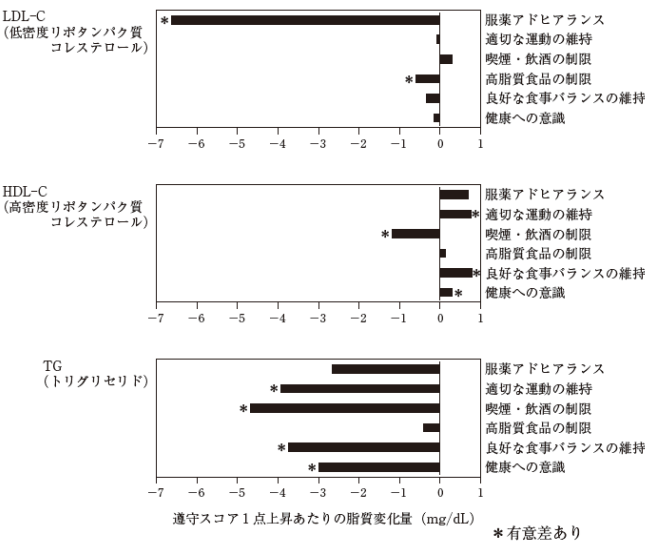


問題文

APPROACH-Jは、冠動脈疾患一次予防高リスク群の脂質異常症患者に対する脂質管理目標値の妥当性及び生活習慣の改善が脂質コントロールに及ぼす影響を明らかにすることを目的に実施された日本人の治療実態下における実践的研究である。

APPROACH-Jでは各項目の遵守をスコア化し、以下の図に示す結果が得られた。



対象患者：動脈硬化疾患予防ガイドライン 2007 版で一次予防の高リスク群と判定されたプラバスタチン新規投与及び投与中の外来患者（男性 20 歳以上、女性 55 歳以上または閉経後。脳卒中、閉塞性動脈硬化症・合併症患者は除く。）（n = 4,352）  
Kitagawa et al. J. Atheroscler.Thromb. 2012;19:795-805 より改変

グラフから読み取れることとして、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1. 服薬アドヒアランスが1点上昇すると、LDL-C値は約6.6mg/dL減少する。
- 2. 適切な運動を維持するとLDL-C値が上昇する。
- 3. 喫煙や飲酒の制限をすると、HDL-C値が上昇する。
- 4. 良好な食事バランスを維持すると、「LDL-C値／HDL-C値」が小さくなる。
- 5. トリグリセリド値を改善するには、高脂質食品の制限の方が服薬アドヒアランスよりも効果が大きい。

解答

1, 4

解説

選択肢 1 は、正しい記述です。  
棒グラフは「遵守スコア 1 点あたりの 脂質変化量」と書いてあります。 LDL-C についての表に注目することで 確かに読み取ることができます。

選択肢 2 ですが  
適切な運動の維持による結果には、 \* がついていません。 有意差がないため 上昇するとはいいきれません。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

HDL-C についての表に注目すると、喫煙・飲酒の制限により マイナス側に有意差ありです。つまり、HDL-Cは「減少」します。上昇ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

良好な食事バランスを維持することで、LDL-Cには変化があるかわかりませんが HDL-C値は上昇します。その結果、 $\text{LDL-C} / \text{HDL-C}$  は 分母が大きくなるため、全体の値は小さくなります。

選択肢 5 ですが

TGについて、服薬アドヒアランス も 高脂質食品の制限も有意差なしなので 効果がどちらが大きいかは読み取れません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,4 です。